

【資料 1】

鞍手町まち・ひと・しごと創生総合戦略

P D C A シート

PDCAシートの見方について

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施									
連番	1		主管課	地域振興課	その他の課	4つの基本目標で設定した指標を記載			
基本目標	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援					●指標（実施に関する目標達成の状態）			
事業名	雇用対策事業					新規起業数	事業所数	従業員数	
重要業績指標（KPI）	就業者数					現在値	未実施	目標値	40人
課題と課題解決の方策	本町を管轄する福岡労働局ハローワーク直方の平成26年度の有効求人倍率の平均は0.82であり全国の1.11、福岡県の1.00を下回っており、求人数（企業側）の低さがうかがえる。 本事業における「課題と課題解決の方策」と「具体的手法」について、戦略策定時にワーキングチームが作成したものを記載。今後、PDCAサイクルで効果検証する中で内容を改める必要がある場合には、下記の「具体的取組内容」の中で変更点を示していくこととする。								
具体的手法	農商工連携は、農業者や企業と、農産物の加工・流通・販売の面で連携し、地域求職者の能力開発、人材育成に係るセミナー等の開催								
■ 評価点検⇒見直し									
年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●） 27 28 29 30 31 開始年月 到達年月 ▲▲●●●●●●●●●●●●●●●● H27.4 H32.3						現在の状況（KPI）	進捗率（%）	
平成27年度	事業の検討状況や実施状況について、各年度末におけるそれまでの実績とその後の予定を記載。前倒し実施や検討期間の延長などにより、その後の予定は変わることもあるため、次年度以降に記載する実績や予定とはズレが生じる場合もある。						3人	7.5%	
平成28年度	担当課が実施した具体的な取組内容を年度ごとに記載								
平成29年度									
平成30年度									
平成31年度									
事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	年度の決算額を記載。別シートで予算計上している事業（他の事業と一体的に予算計上している事業）は、「－」で表記。その場合、事業費を計上している事業の番号（連番）を備考欄に記載。		
	事業費	—					国の補助金・交付金（国庫支出金）や県の補助金・交付金（県支出金）、その他の補助金等の名称を記載。		
	国庫支出金	—							
	県支出金	—							
	地方債	—							
	その他	—							
	一般財源	—							
備考	補助事業名等 予算は、連番3にて計上								

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	1	主管課	地域振興課	その他の課				
基本目標	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援				●指標（実施に関する目標達成の状態）			
テーマ	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援					新規起業数	事業所数	従業員数
事業名	雇用対策事業				目標値	30件	582社	6,400人
					現状値	—	552社	6,260人
重要業績指標（K P I）		就業者数		現在値	未実施	目標値	40人	
課題と課題解決の方策	本町を管轄する福岡労働局ハローワーク直方の平成26年度の有効求人倍率の平均は0.82であり全国の1.11、福岡県の1.00を下回っており、求人数（企業側）の低さがうかがえる。							
具体的手法	農商工連携による地域資源を活用した商品開発や観光商品の造成。 既創業者や創業予定者を対象に、新分野への進出や新規創業などに対する研修会の開催並びに地域求職者の能力開発、人材育成に係るセミナー等の開催。							

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月											
平成27年度	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	3人	7.5%
	具体的取組内容	平成27年度については、経営・財務のノウハウなど「創業支援事業くらて起業塾学習会」を6回開催しました。参加者は男性9名、女性4名の計13名でした。参加者のうち小売業種（寝具）で1名が創業され、就業者数は3名でした。																
平成28年度																		
	具体的取組内容																	
平成29年度																		
	具体的取組内容																	
平成30年度																		
	具体的取組内容																	
平成31年度																		
	具体的取組内容																	

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		—				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	—				
			県支出金	—				
			地方債	—				
			その他	—				
			一般財源	—				
補助事業名等								
備 考		予算は、連番3にて計上						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	2	主管課	地域振興課	その他の課	
基本目標	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援				新規企業数 事業所数 従業員数
事業名	インターネットショップ起業等支援事業	目標値	30件	582社	6,400人
		現状値	—	552社	6,260人
重要業績指標（KPI）	ショップ起業数		現在値	未実施	目標値 4件
課題と課題解決の方策	インターネットショップ起業支援事業に係る広報について、町公式HPや広報紙を活用し問い合わせが3件。9月末に1件申請。 コストが発生するような手法ではなく、これまでどおりの町公式HPや広報紙、さらに町公式フェイスブックページを活用して広報を行う。				
具体的手法	町公式ホームページでは、トピックスを活用するなど閲覧者の目に留まりやすくし、広報紙においては、掲載回数を増やすなどの手法で広報に努める。町公式フェイスブックページでは定期的に情報投稿を行い周知に努める。また、併せて商工会などを通じ事業者への啓発を行う。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月											
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27. 4	H32. 3	0件	0. 0%
平成27年度	具体的取組内容		鞍手町インターネットショップ起業等支援補助金交付要綱により、町内の中小企業等がインターネットを活用して商品又はサービスの販路等の開拓又は拡大を目指す取組に対し、予算の範囲内において補助金を交付する例規を制定しました。平成27年度は、初年度のため、周知が主な取り組みであり、町公式ホームページや商工会経由で町内企業等への情報提供を行いました。 なお、平成27年度中は、9月に1件の申請がありましたが、インターネットショップの営業を開始した日から起算して6か月の営業期間を経過した日以後でなければ補助金の交付とならないので進捗率は0％でした。															
平成28年度	具体的取組内容																	
平成29年度	具体的取組内容																	
平成30年度	具体的取組内容																	
平成31年度	具体的取組内容																	
事業費（決算額） （単位：千円）			財源の種類		事業費		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							
					国庫支出金		0											
					県支出金		0											
					地方債		0											
					その他		0											
					一般財源		0											
			補助事業名等															
備 考																		

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	3	主管課	地域振興課	その他の課				
基本目標	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援				●指標（実施に関する目標達成の状態）			
テーマ	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援					新規起業数	事業所数	従業員数
事業名	創業支援事業				目標値	30件	582社	6,400人
					現状値	—	552社	6,260人
重要業績指標（KPI）	起業数			現在値	未実施	目標値	8 件	
課題と課題解決の方策	創業支援事業計画（平成27年2月27日付、経済産業大臣・総務大臣認定）を策定し、創業者の支援（経理・財務・人材育成・販路開拓）を行うこととしているが、これまでも商工会において個別に創業セミナー等を行ってきた。しかし、参加者はごく少数であり、相談件数も4～5件程度であったことから、今後の受講者の確保が課題である。							
具体的手法	町公式ホームページ、広報紙、町公式フェイスブックページなどを活用し広く住民に周知を行う。また、公共施設の掲示、配布用として啓発ビラを作成する。							

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）																現在の状況（K P I）		進捗率（％）
	27		28		29		30		31		開始年月	到達年月							
	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	1 件	12.5%
平成27年度	具体的取組内容		創業支援事業計画を策定し、町内での創業を希望する人や新たな事業展開を図ろうとする方を対象に町商工会、地域金融機関、その他関係機関と連携し「くらて起業塾」を開催しました。参加者は男性9名、女性4名の計13名でした。参加者のうち小売業種（寝具）で1件の創業がありました。 H27年11月 第1、2回創業支援事業くらて起業塾講演会（経営・人材育成）の開催（来場者：64名） H27年11月 第3回創業支援事業くらて起業塾学習会（経営・財務）の開催（受講者：12名） H27年12月 第4回創業支援事業くらて起業塾学習会（販路開拓）の開催（受講者：10名） H27年12月 第5回創業支援事業くらて起業塾学習会（経営・財務、販路開拓）の開催（受講者：9名） H27年12月 第6回創業支援事業くらて起業塾学習会（経営・財務）の開催（受講者：8名）																
平成28年度	具体的取組内容																		
平成29年度	具体的取組内容																		
平成30年度	具体的取組内容																		
平成31年度	具体的取組内容																		

事業費（決算額） （単位：千円）		H27年度		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
		事業費		500				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	500				
		補助事業名等						
備 考								

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	4	主管課	地域振興課	その他の課	総務課 政策推進課
基本目標	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	鞍手町における安定した雇用の創出と起業支援				新規起業数 事業所数 従業員数
事業名	学校まるとアニメ事業 ※No.5再掲	目標値	30件	582社	6,400人
		現状値	—	552社	6,260人
重要業績指標（KPI）	起業数		現在値	未実施	目標値 22件
課題と課題解決の方策	少子高齢化時代による地方人口の減少が社会問題とされる昨今、本町においても、定住人口の減少が顕著となり、食い止めるべく様々な施策に取り組んでいるところであるが、問題解決には至っていない。また、雇用においても本町を管轄するハローワークの有効求人倍率が1未満という地域でもあることから、人口問題と併せ雇用面にも大きな課題を抱えている。 観光による交流人口の増加や新規創業による雇用の創出を目的とした「観光」と「創業」をキーワードとする「学校まるとアニメ事業」に取り組む。				
具体的手法	旧鞍手南中学校を活用して「観光」及び「創業支援」事業に取り組む。「観光」…アニメやゲーム、フィギュア等の装いを楽しむ「コスプレ」が流行っていることなどから、校舎の2・3F部分を開放して「コスプレ」イベントの撮影会やアニメソングのライブ会場などに利用する。「創業支援」…アニメ関連イベントの参加者がクリエイターを志望していることから、校舎4F部分をインキュベーション施設として、クリエイター等の育成に利用する。その他、1F部分を地域拠点としてコミュニティカフェや特産品の販売等に利用する。 企画・運営に関しては、サブカルチャー分野に精通した民間事業者に委託する。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月											
	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27. 7	H32. 3	0件	0. 0%
平成27年度	具体的取組内容	新中学校が新たに建設されたことにより、廃校となった中学校の2校の跡地利用を検討していた検討委員会に対して、民間事業者より企画提案がなされました。試験的にプレイイベントを開催したところ、反響が大きく、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）上乗せ交付タイプⅠに申請し、採択されました。また、この事業を加速化するために、地方創生加速化交付金を申請し、採択され、平成28年度に繰越明許を行いました。タイプⅠ交付金を活用して、施設の改修や3Dプリンタ、PC、DJミキサーなどを購入し、併せてHPやPVの制作、その他予約、販売システムの構築を行いました。																
平成28年度	具体的取組内容																	
平成29年度	具体的取組内容																	
平成30年度	具体的取組内容																	
平成31年度	具体的取組内容																	

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	財源の種類	事業費	40,383				
		国庫支出金	37,500				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	2,883					
補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）上乗せ交付タイプⅠ					
備 考		先駆性の高い事業として国から認められたもの。					

平成27年度 学校まるごとアニメ事業経過

年 月	内 容
平成27年6月～	旧南中学校の利用企画提案協議（廃校そのまま“おたく”ビジネス）
平成27年7月～平成28年3月	試験的なコスプレイベントの開催（計10回参加者901名）
平成27年11月	地方創生先行型上乗せ交付金タイプⅠ申請・交付決定
平成27年12月～	学校まるごとアニメ事業業務委託（HP・PV制作、デジタルコンテンツシステム構築など）
平成28年1月～	学校まるごとアニメ事業備品購入（3Dプリンタ、PC、カメラなど）
平成28年3月	地方創生加速化交付金申請・交付決定（次年度繰越し）

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	5	主管課	地域振興課	その他の課	総務課 政策推進課
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	交流人口の拡大				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	学校まるとアニメ事業	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	観光入込客数		現在値	127,000人	目標値 200,000人

課題と課題解決の方策
 少子高齢化時代の到来による地方人口の減少が社会問題とされる昨今、本町においても、定住人口の減少が顕著となり、食い止めるべく様々な施策に取り組んでいるところであるが、問題解決には至っていない。また、雇用においても本町を管轄するハローワークの有効求人倍率が1未満という地域でもあることから、人口問題と併せ雇用面にも大きな課題を抱えている。
 有識者や民間専門家の助言指導による事業の推進。

具体的手法
 旧鞍手南中学校を活用して「観光」及び「創業支援」事業に取り組む。「観光」…アニメやゲーム、フィギア等の装いを楽しむ「コスプレ」が流行っていることなどから、校舎の2・3F部分を開放して「コスプレ」イベントの撮影会やアニメソングのライブ会場などに利用する。「創業支援」…アニメ関連イベントの参加者がクリエイターを志望していることが多いことから、校舎4F部分をインキュベーション施設として、クリエイター等の育成に利用する。その他、1F部分を地域拠点としてコミュニティカフェや特産品の販売等に利用する。
 企画・運営に関しては、サブカルチャー分野に精通した民間事業者に委託する。

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月										
	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27. 7	H32. 3	130, 100人	65. 1%
平成27年度	具体的取組内容	新中学校が新たに建設されたことにより、廃校となった中学校の2校の跡地利用を検討していた検討委員会に対して、民間事業者より企画提案がなされました。試験的にプレイイベントを開催したところ、反響が大きく、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）上乗せ交付タイプⅠに申請し、採択されました。また、この事業を加速化するために、地方創生加速化交付金を申請し、採択され、平成28年度に繰越明許を行いました。タイプⅠ交付金を活用して、施設の改修や3Dプリンタ、PC、DJミキサーなどを購入し、併せてHPやPVの制作、その他予約、販売システムの構築を行いました。															
平成28年度	具体的取組内容																
平成29年度	具体的取組内容																
平成30年度	具体的取組内容																
平成31年度	具体的取組内容																

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
		事業費	—					
		財源の 種類	国庫支出金	—				
			県支出金	—				
			地方債	—				
			その他	—				
			一般財源	—				
		補助事業名等						
備 考		予算は、連番 4 で計上						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	6	主管課	地域振興課	その他の課	農政環境課
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	交流人口の拡大				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	体験農園事業（観光まちおこしプロジェクト）	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	観光入込客数		現在値	127,000人	目標値 200,000人
課題と課題解決の方策	本町では、観光による交流人口の拡大と地域の活性化を目的とした観光まちおこし事業に取り組んでいるが、観光に対する専門的知識や経験が不足しており、かつ食事処や休憩所、お土産等を買う物産館や宿泊施設のない本町で、交流人口の増加による地域経済の活性化が見込めるかが課題である。 有識者や民間専門家の助言指導による事業の推進。				
具体的手法	有識者や民間専門家からの助言指導、セミナー等を開催しながら、地域住民とともに知識を深め、観光資源の掘り起こしを行い、商工会やJA、各種団体との連携を図りながら鞍手町オリジナルの観光を確立し交流人口の増加を目指す。 《主な取り組み》 ①体験農園、マルシェの実施 ②観光ルートの造成 ③特産品を活用した新商品の開発 ④観光まちづくり協会（仮称）の設立検討 ⑤特産品のブランド化				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月											
平成27年度	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	130,100人	65.1%
具体的取組内容	観光のまちおこし座談会の際に参加者等から出された意見等を参考に、地元 J A及び生産者様のご協力をいただき体験農園（ぶどう狩り）モニターツアーを8月に開催しました。 第1回目 参加者32名（うち町外の方 17名） 第2回目 台風接近のため中止となりました。 アンケートでは、来年もこのツアーを続けてほしいとの声を多くいただきました。																	
平成28年度																		
具体的取組内容																		
平成29年度																		
具体的取組内容																		
平成30年度																		
具体的取組内容																		
平成31年度																		
具体的取組内容																		
事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	事業費	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度							
		国庫支出金	14,119															
		県支出金	12,584															
		地方債	0															
		その他	0															
		一般財源	1,535															
補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）																
備 考																		

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	7	主管課	地域振興課	その他の課	農政環境課
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	交流人口の拡大				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	特産品のPR（観光まちおこしプロジェクト）	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	観光入込客数		現在値	127,000人	目標値 200,000人
課題と課題解決の方策	ぶどう（巨峰）やいちじく、鶏卵などを特産品として町内外にPRしているが、商品によっては、一部ブランド品として取扱いがされているものの、一方では季節的なものであることや町内で直売をしていることから、町外での商品の知名度は高いとは言えず集客につながっていない。今後は、集客力のある施設や著名な方などを活用して宣伝・PRを行う。				
具体的手法	著名なタレントや鞍手町出身の芸人などの協力を得てイベントやインターネットテレビなどで紹介したり、近隣市町の集客力のある施設などを活用して特産品の宣伝・PRを行う。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	▲	●	●	●	●	●	●	●	130,100人	65.1%
具体的取組内容	福岡天神バスセンター設置のデジタルサイネージを活用して、鞍手町出身の芸人とタレントの山本華世さんによる特産品の宣伝・PRを行いました。また、インターネットテレビ「地球のどこでもカヨチャンネル」による特産品（野菜、ぶどう、きらくソース、地域の祭事等）のPRを行いました。これらは、町の知名度向上につながり、観光入込客数は、前年度より3,100人の増となりPRの効果は顕著に表れています。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		—				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	—				
			県支出金	—				
			地方債	—				
			その他	—				
			一般財源	—				
		補助事業名等						
備 考		連番6にて予算計上						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	8	主管課	地域振興課	その他の課	農政環境課			
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）			
テーマ	交流人口の拡大					社会増減（転入者数－転出者数）	観光入込客数	
事業名	特産品のブランド化（観光まちおこしプロジェクト）				目標値	50人／年	200,000人	
					現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（K P I）	観光入込客数			現在値	127,000人	目標値	200,000人	
課題と課題解決の方策	ぶどう（巨峰）やいちじく、鶏卵などを特産品として町内外にPRしているが、商品によっては、一部ブランド品として取扱いがされているものの、一方では季節的なものであることや町内で直売をしていることから、町外での商品の知名度は高いとは言えず集客につながっていない。また、国内は既にブランドかれた農畜産物が多いため、ブランド化には時間を要することが考えられる。							
具体的手法	集客のための航空路線も充実しているアジア圏に向けて販路を開拓するため、まずASEAN地域の経済の中心であるシンガポール国において、集客力のあるショッピングモールにで数日間試食販売を行う。取れたてのぶどうを空輸してなるべく新鮮な状態で店頭に陳列し、客の反応を確認するとともに、品質もよく安心安全な本町のぶどうを取り扱ってもらえるよう事業者への営業活動も併せて行う。							

■ 評価点検⇒見直し

[illegible]

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		—				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	—				
			県支出金	—				
			地方債	—				
			その他	—				
			一般財源	—				
補助事業名等								
備 考		連番 6 にて予算計上						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	9	主管課	地域振興課	その他の課	農政環境課
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	交流人口の拡大				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	特産品の販売促進（観光まちおこしプロジェクト）				目標値 50人／年 200,000人
					現状値 21人／年 127,000人
重要業績指標（KPI）	観光入込客数		現在値	127,000人	目標値 200,000人

課題と課題解決の方策
ぶどう（巨峰）やいちじく、鶏卵などを特産品として町内外にPRしているが、商品によっては、一部ブランド品として取扱いがされているものの、一方では季節的なものであることや町内で直売をしていることから、町外での商品の知名度は高いとは言えず集客につながっていない。今後は、集客力のある施設を活用して、宣伝・PRを行う。

具体的手法
本町の立地を活かし、九州道沿線のパーキングエリア、サービスエリアや道の駅などの施設において特産品の試食販売を行う。

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27		28		29		30		31		開始年月	到達年月						
平成27年度	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	130,100人	65.1%
具体的取組内容	町の特産品を町外へP Rをするため、九州道S Aの中でも高い集客力を誇る「古賀サービスエリア（上り）」や全国の道の駅の中でも、売り上げの上位にランクする「道の駅むなかた」、その他には、国際交流が盛んなグローバルアリーナや東京国際フォーラムの4か所で試食販売を行いました。いずれも会場での売れ行きは好評で、町外、県外からのリピーターの確保にもつながりました。																	
平成28年度																		
具体的取組内容																		
平成29年度																		
具体的取組内容																		
平成30年度																		
具体的取組内容																		
平成31年度																		
具体的取組内容																		

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		—				
	財 源 の 種 類	国庫支出金	—				
		県支出金	—				
		地方債	—				
		その他	—				
		一般財源	—				
	補助事業名等						
備 考	連番 6 にて予算計上						

平成27年度 特産品の販売促進

月 日	場所	特産品等
8月21～23日	古賀サービスエリア（上り）	ぶどう（350kg） イチジク（20kg）
8月29～30日	道の駅むなかた	ぶどう（420kg）
9月5～6日	古賀サービスエリア（上り）	ぶどう（260kg） イチジク（40kg） 米（50kg）
9月21日	グローバルアリーナ	ぶどう（80kg）
9月21日	〃 （土産品）	ぶどう（200kg）
9月22～23日	東京国際フォーラム	ぶどう（160kg） たまご（100箱）

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	10	主管課	政策推進課	その他の課	
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	交流人口の拡大				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	W i - F i 整備	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	観光入込客数		現在値	127,000人	目標値 200,000人
課題と課題解決の方策	公衆無線LANの整備ができていないため、町内を訪れた観光客がスマートフォンなどで大容量の写真やSNS等により情報発信する際に、通信量（料）を気にして躊躇してしまうことがある。また、インバウンド観光客は、訪問国での通信のためにsimカードを購入したり、モバイルルーターをレンタルしたりして対応しているため、公衆無線LANのニーズが非常に高い。 観光客に通信量（料）を気にせずに情報発信してもらうため、公衆無線LAN（無料Wi-Fi）を整備する。				
具体的手法	鞍手駅、歴史民俗博物館、中央公民館、総合福祉センター、役場などの人の往来が多い施設を中心に無料Wi-Fiを整備し、スマートフォン等により情報発信してもらう。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	H28.3	H32.3		130,100人	65.1%
具体的取組内容	平成28年3月より歴史民俗博物館、中央公民館、総合福祉センター及び役場庁舎に公衆無線LAN（無料Wi-Fi）を設置し、利用者の利便性の向上を図りました。 観光入込客数については、前年度より3,100人の増となりました。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費	318			
		国庫支出金	200			
		県支出金	0			
		地方債	0			
		その他	0			
		一般財源	118			
補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）				
備考						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	11	主管課	地域振興課	その他の課	
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	移住・定住の促進				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	鞍手町定住促進奨励金交付事業				目標値 50人／年 200,000人
					現状値 21人／年 127,000人
重要業績指標（KPI）	転入世帯数			現在値	41世帯 目標値 170世帯
課題と課題解決の方策	人口減少数の抑制のため、定住促進奨励金事業を実施。				
具体的手法	町内にて住宅を取得し居住された方に、対象となる家屋と土地に対する固定資産税相当額を、最高10年間交付する。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	●	●	●	64世帯	37.6%
具体的取組内容	平成27年度末までの転入世帯は64世帯となり、平成26年度末から見ると23世帯増加しました。平成27年度交付対象者は144人（前年比50人増）。奨励金交付額は8,560,800円（前年比3,056,800円増）。転入により交付対象となった世帯の住民税納付額は12,125,400円（前年比6,283,900円増）。転入による定住人口は208人（前年比83人増）となっています。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費	8,585			
		国庫支出金	3,609			
		県支出金	0			
		地方債	0			
		その他	0			
		一般財源	4,976			
補助事業名等		社会資本整備総合交付金				
備考						

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
申請件数		144				
申請世帯人口		504				
	転入人口	208				
	不転出人口	296				
新築		101				
	うち転入	41				
中古住宅		43				
	うち転入	23				
交付額		8,560,800				
転入世帯数		64				
転入者への課税額		12,348,000				
	住民税	12,125,400				
	※参考 軽自動車税	222,600				

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	12	主管課	建設課	その他の課	
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	移住・定住の促進				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	民間賃貸住宅建設促進事業				目標値 50人／年 200,000人
					現状値 21人／年 127,000人
重要業績指標（KPI）	民間賃貸住宅建設戸数		現在値	未実施	目標値 50戸

課題と課題解決の方策
若者向けの賃貸住宅が少ない。
転入者（若者向け）等の住宅を確保するため、アパートやマンションなどの民間賃貸住宅の建設者に、その費用の一部を補助するなどの方策を検討

具体的手法
民間賃貸住宅建設促進補助金制度（案）
（１）補助額 １戸当たり50万円（１棟あたり上限500万円）
（２）賃貸住宅の要件（例）
ア 新築であるもの
イ １棟あたり４戸以上で、１戸あたりの床面積が30㎡以上80㎡以下であるもの
ウ 敷地内に１戸あたり１台以上の専用駐車場が確保されているもの
エ 各戸に玄関、便所、浴室及び台所が設置されているもの

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（％）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	▲	▲	▲	▲	●	H28.2	H32.3	0戸	0.0%	具体的取組内容 平成28年度は、同様の制度を先行して行っている他団体におけるその運用や実績等の状況をまず調査します。その調査結果等を参考としながら、本町において有効な施策として機能させ、テーマである移住・定住の促進に大きな（若者向けの）効果が見込まれるかどうかを検証することとしています。実施すべきと判断した場合は、平成29年度からの開始を目標に制度構築と必要な予算措置等の準備を進めます。
平成28年度										具体的取組内容
平成29年度										具体的取組内容
平成30年度										具体的取組内容
平成31年度										具体的取組内容

事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費	0			
		国庫支出金	0			
		県支出金	0			
		地方債	0			
		その他	0			
備考	一般財源		0			
	補助事業名等					

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	13	主管課	地域振興課	その他の課	
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	移住・定住の促進				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	新婚及び子育て世帯家賃補助 ※No.18再掲	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	新婚・子育て世帯の移住世帯数	現在値	未実施	目標値	30世帯

課題と課題解決の方策	人口減少の抑制 鞍手町人口自然増減数（出生者数－死亡者数） ※H26. 1. 1～H26. 12. 31の間の自然増減数△137人
------------	---

具体的手法	・新婚世帯……夫婦の合計年齢が70歳未満で制度開始以降に婚姻した者 ・子育て世帯……未就学児が同居する世帯で町外から転入してきた世帯 ・新婚世帯、子育て世帯で町内の民間賃貸住宅にお住まいの住民に年額24万円（月額2万円）を5年間補助
-------	--

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）												現在の状況（K P I）		進捗率（％）		
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月										
平成27年度		▲	▲	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	H28. 2	H32. 3	0人	0. 0%
具体的取組内容	計画策定後、補助額及び期間について検討を行いました。また、平成28年度は例規整備や他自治体の動向を調査しながらの検討期間とし、家賃補助額や期間について財政面を考慮しながら調整をする期間としました。																
平成28年度																	
具体的取組内容																	
平成29年度																	
具体的取組内容																	
平成30年度																	
具体的取組内容																	
平成31年度																	
具体的取組内容																	

事業費（決算額） （単位：千円）		H27年度		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
		事業費		0				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	0				
		補助事業名等						
備 考								

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	14	主管課	政策推進課	その他の課	
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	移住・定住の促進				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	おためし居住	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	都市部からの移住世帯数		現在値	未実施	目標値 5世帯／年
課題と課題解決の方策	交通インフラの充実による利便性と自然豊かな田舎要素を兼ね備えているが、知名度が低く、人口流出が続いている。特に2040年には20代・30代女性が2010年比で約7割減少し、町が消滅する可能性すらあるという予測もある。 実際に生活してもらうことで町の良さを知ってもらうため、お試し居住事業を実施する。				
具体的手法	町内の空家を借り上げて、県外在住者を対象にお試し居住参加者を募集する。1～2か月程度居住してもらうことで町の良さを知ってもらい、ブログ等でその情報を発信してもらう。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（％）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	▲	●	●	●	●	●	●	●	H27.7 H32.3	1世帯 20.0%
具体的取組内容	県とトライアルワークキングステイ（おためし居住）事業を実施し、参加者に10月15日～12月24日の約2か月間おためし居住の状況や町での出来事についてSNS（県のポータルサイト）で発信を行ってもらった。また、その参加者が3月9日に鞍手町へ移住をされ、本事業を通じての移住世帯が1世帯となりました。 また、おためし居住についても体験型プログラムとして、移住定住促進事業として一体的に取り組むこととし、2月に地方創生加速化交付金を申請し採択され、新年度に向け準備を行いました。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		760				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	514				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	246				
		補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）				
備 考								

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	15	主管課	政策推進課	その他の課	全課局
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	移住・定住の促進				社会増減（転入者数－転出者数） 観光入込客数
事業名	移住・定住の情報発信	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	都市部からの移住世帯数		現在値	未実施	目標値 5世帯／年
課題と課題解決の方策	交通インフラの充実による利便性と自然豊かな田舎要素を兼ね備えているが、知名度が低く、人口流出が続いている。特に2040年には20代・30代女性が2010年比で約7割減少し、町が消滅する可能性すらあるという予測もある。 生活のしやすさをPRして移住・定住を推進する。				
具体的手法	移住・定住施策をまとめたガイドブックを作成して配布するとともに、移住フェアなどの住まいに関するイベントにブース出展してガイドブックを活用しながら情報発信する。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（％）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	H28.1	H32.3	1世帯	20.0%	1月に県主催の都市圏で開催された「ふくおか移住定住フェア」にブースを出展し、移住希望者の相談や町のPRを行った。来場者数は627人、440組で、鞍手町のブースを訪れた方は27組でした。 また、おためし居住に参加された方に移住者目線での移住定住施策ガイドの作成に協力してもらい、移住・定住フェアにて配布し町のPRを行いました。 また、情報発信についても移住定住促進事業として一体的に行うこととし、2月に地方創生加速化交付金を申請し、採択され、新年度に向け準備を行いました。
平成28年度										具体的取組内容
平成29年度										具体的取組内容
平成30年度										具体的取組内容
平成31年度										具体的取組内容

事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費	866			
		国庫支出金	0			
		県支出金	0			
		地方債	0			
		その他	0			
		一般財源	866			
補助事業名等						
備 考						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	16	主管課	政策推進課	その他の課	
基本目標	鞍手町への新しいひとの流れをつくる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	移住・定住の促進				社会増減（転入者数－転出者数）観光入込客数
事業名	空家バンク	目標値	50人／年	200,000人	
		現状値	21人／年	127,000人	
重要業績指標（KPI）	空家バンクを通じた移住世帯数	現在値	未実施	目標値	5世帯／年

課題と課題解決の方策
交通インフラの充実による利便性と自然豊かな田舎要素を兼ね備えているが、知名度が低く、人口流出が続いている。特に2040年には20代、30代女性が2010年比で約7割減少し、町が消滅する可能性すらあるという予測もある。
町内にある空き家を移住者の受け皿として活用する。

具体的手法
空家調査を実施して町内の空家の実態を把握し、所有者に今後の空家の取り扱いについてアンケート調査を実施する。併せて空家バンクシステムを導入し、アンケート調査により移住者の受け皿としての有効活用したいと回答があった空家を登録することで全国に向けて空き家情報を発信する。

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月											
	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27. 4	H32. 3	0世帯	0. 0%
平成27年度	具体的取組内容	平成27年 9 月に空家バンク導入に伴う全町の空家調査に伴うデータの突合によるコンテンツ調査を実施し、その後、町全域の空家調査を実施し、空家の件数を把握しました。 空家件数 730件。老朽度・危険度ランクを3段階に区分し、「特に修繕の必要もなく再利用が可能な物件」が222件、「管理が行き届いていないが当面の危険性は少ない小規模の修繕により再利用が可能な物件」が347件、「崩壊の危険性があり修繕や解体などの緊急度が高い物件」が161件でした。 また、平成28年度空家バンク設置のために要綱等の整備を行いました。																
平成28年度	具体的取組内容																	
平成29年度	具体的取組内容																	
平成30年度	具体的取組内容																	
平成31年度	具体的取組内容																	

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		6,372				
	財 源 の 種 類	国庫支出金	5,712				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	660				
	補助事業名等						
備 考							

空家の実態調査

1. 空家の実態調査について
期 間 平成27年12月14日（月）～平成28年2月29日（月）
2. 調査地域 鞍手町全域
3. 委託業者 株式会社ゼンリン
4. 現地調査員 株式会社ゼンリン調査員
5. 調査内容 空家と想定される家屋の外観目視及び写真撮影
6. 調査結果

◆空家の種別

種 別	定 義	件数
空 家	個人が居住を目的として建築した建物で現に居住していない物件	629件
空家候補	空家の可能性がある物件及び所有者が入院している物件	58件
管理物件	不動産業者等が管理している物件	43件
合 計		730件

◆老朽度・危険度ランク

ランク	判断基準	件 数
A	特に修繕の必要もなく、再利用が可能	222件
B	管理が行き届いていないが、当面の危険性は少ない	347件
	小規模の修繕により再利用が可能	
C	崩壊の危険性があり、修繕や解体などの緊急度が高い	161件
合 計		730件

◆周囲に対する危険度のランク

ランク	判定内容	件 数
I	崩壊した場合でも、隣家及び公道を通行する人、車両に危険を及ぼす可能性がない	598件
II	崩壊した場合でも、隣家及び公道を通行する人、車両に危険を及ぼす可能性がある	132件
合 計		730件

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	17	主管課	政策推進課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	出会いの場の提供				0歳～14歳までの人口割合
事業名	体験型お見合い	目標値	13%		
		現状値	11%		
重要業績指標（KPI）	成婚率		現在値	未実施	目標値 5組

課題と課題解決の方策
現在、鞍手町には若い男女が出会える環境がなく、また、町外の若者が鞍手町に足を運ぶことが少ない。そのため、町外の若者が鞍手町に住むというきっかけがなく、結婚後の住居や定住を考える場合に鞍手町が選択肢として挙がる可能性が低い。
男女で作業体験（例えば田植えや農産物の収穫など）してもらい、その後BBQなどで打ち上げをして親交を深めてもらうなど、鞍手町の宣伝も兼ねたお見合い企画として、若い男女が出会える場を提供し、鞍手町に関心を持ってもらうことを第一義として、居住や定住につなげる契機とする。
また、この企画で出会い、結婚し、かつ鞍手町に定住した場合、結婚祝い金を贈呈する。

具体的手法
・より親交を深めてもらうためメンバー固定で年4回開催
（※町の特産品のPRや農作業等の四季を通じた体験型イベント）
・男性15名（会費3,000円）、女性15名（会費3,000円）程度
・結婚後、10年以上鞍手町に住んだ場合、結婚祝い金として100万円を贈呈
・福岡県事業である「出会い結婚応援団体」に参加し、あかい糸めーる登録者（約8,000人）に対するイベント情報の発信

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	▲	●	●	●	●	●	●	●	0組	0.0%
具体的取組内容	計画策定後、移住定住促進事業として一体的に行うこととし、2月に地方創生加速化交付金を申請し、採択され、新年度に向け準備を行いました。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		0				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	0				
		補助事業名等						
備 考								

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	18	主管課	地域振興課	その他の課				
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）			
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり					0歳～14歳までの人口割合		
事業名	新婚及び子育て世帯家賃補助				目標値	13%		
					現状値	11%		
重要業績指標（KPI）	新婚・子育て世帯の移住世帯数		現在値		未実施		目標値	30世帯

課題と課題解決の方策	人口減少の抑制 鞍手町人口自然増減数（出生者数－死亡者数） ※H26. 1. 1～H26. 12. 31の間の自然増減数△137人
	・新婚世帯……夫婦の合計年齢が70歳未満で制度開始以降に婚姻した者 ・子育て世帯……未就学児が同居する世帯で町外から転入してきた世帯 ・新婚世帯、子育て世帯で町内の民間賃貸住宅にお住まいの住民に年額24万円（月額2万円）を5年間補助
具体的手法	

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28			29			30			31		開始年月	到達年月				
平成27年度			▲	▲	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	H28.2	H32.3	0世帯	0.0%
	具体的取組内容	計画策定後、補助額及び期間について検討を行いました。また、平成28年度は例規整備や他自治体の動向を調査しながらの検討期間とし、家賃補助額や期間について財政面を考慮しながら調整をする期間としました。																
平成28年度																		
	具体的取組内容																	
平成29年度																		
	具体的取組内容																	
平成30年度																		
	具体的取組内容																	
平成31年度																		
	具体的取組内容																	

事業費（決算額） （単位：千円）		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
		事業費		0							
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0							
			県支出金	0							
			地方債	0							
			その他	0							
			一般財源	0							
		補助事業名等									
備 考											

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	19	主管課	保険健康課	その他の課					
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）				
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり					0歳～14歳までの人口割合			
事業名	妊婦健診の拡充（妊婦健診時の子宮頸がん検診公費負担）				目標値	13%			
					現状値	11%			
重要業績指標（KPI）	妊婦健診時の子宮頸がん検診受診率			現在値	未実施	目標値	90%		
課題と課題解決の方策	福岡県全市町村の妊婦健診は平成21年度から14回公費負担で実施しているが、医学的検査13項目のうち、子宮がん検診のみが妊婦さんの自己負担で実施している。 子ども・子育て支援法において、市町村が義務として行う地域・子ども子育て支援事業の一つとして、「母子保健法の規定に基づき妊婦に対して健康診査を実施する事業」が定められた。これに伴い、平成27年4月1日、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準の公布」について、厚労省より通知が出され、妊婦健診の実施時期や回数、内容、市町村の責務を大臣告示に格上げし、周知されたところである。「市町村は、妊婦1人につき、14回程度の妊婦健診の実施に要する費用負担するものとする」と告示されており、子宮がんの早期発見、早期治療のために公費負担で実施していく必要がある。								
具体的手法	妊娠中の子宮頸がん検診に係る費用を全額助成する。 ①産婦人科にて子宮頸がん検診を受診 ②領収書の原本、申請者と同じ名義の通帳、印鑑、母子手帳をそろえて総合福祉センター保健棟窓口に申請書を提出 ③償還払いによる口座振り込み								
年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）							現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月		
平成27年度		▲●●●●●●●●●●●●●●●●				H28.2	H32.3	0%	0.0%
	具体的取組内容	計画策定後、実施に向けて、委託契約等の検討を行いました。妊婦健診については県内統一の取り組みとなっているため、町内に産婦人科もなく委託契約は難しいと判断し、鞍手町妊婦健康診査における子宮頸がん検診費用補助金交付要綱の例規整備を行い、平成28年度から償還払い方式にて取り組むこととしました。							
平成28年度	具体的取組内容								
平成29年度	具体的取組内容								
平成30年度	具体的取組内容								
平成31年度	具体的取組内容								
事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類		事業費		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
			国庫支出金		0				
			県支出金		0				
			地方債		0				
			その他		0				
			一般財源		0				
	補助事業名等								
備考									

平成28年3月30日

鞍手町告示第25号

鞍手町妊婦健康診査における子宮頸がん検診費用補助金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、鞍手町内に住所（住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第5条に規定する住民基本台帳に記録する住所をいう。以下同じ。）を有する妊婦が妊婦健康診査（以下「妊婦健診」という。）を受診する際に医療機関等で受けた子宮頸がん検診（以下「検診」という。）の費用を補助することにより、妊婦の経済的負担の軽減を図り、もって妊娠期の母子の健康を守ることを目的とする。

(補助の対象となる妊婦)

第2条 補助の対象となる妊婦は、母子健康手帳を交付され、妊婦健診を受診する者を対象とし、医療機関等において子宮頸がん検診の費用を自己負担しているものとする。

(補助の回数)

第3条 補助の対象となる検診の回数は、1回の妊娠につき1回とする。

(補助金の額)

第4条 補助金の額は、妊婦が医療機関に支払った検診の費用とし、1回当たりの金額は、福岡県集団検診協議会が示す検診料基準額とする。ただし、支払った検診の費用が基準額に満たないときは、支払った検診の費用とする。

(補助金の交付申請)

第5条 補助金の交付を受けようとする妊婦（以下「申請者」という。）は、次の各号に掲げる書類を添えて町長に提出しなければならない。

- (1) 妊婦健康診査における子宮頸がん検診費用補助事業申請書（様式第1号）
- (2) 医療機関領収書（子宮頸がん検診を実施した内容がわかるもの。領収書を紛失した場合は、支払証明書でも可）
- (3) 母子健康手帳の出産予定日欄の写し（鞍手町で母子健康手帳を交付されているものは省略可）

(補助金の交付決定通知及び支払)

第6条 町長は、前条に規定する補助金の交付申請があったときは、当該申請に係る書類の審査を行い、速やかに交付の可否決定を行い、妊婦健康診査費用補助金交付（不交付）決定通知書（様式第2号及び第3号）により、申請者に通知し、交付決定の場合は、速やかに補助金を支払うものとする。

(補助金の返還)

第7条 町長は、申請者が虚偽の交付申請その他不正な行為により補助金の交付を受けた場合は、申請者に対して補助金の全部又は一部を返還させることができる

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は町長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から適用する。

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	20	主管課	保険健康課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり				0歳～14歳までの人口割合
事業名	不妊治療への助成	目標値	13%		
		現状値	11%		

重要業績指標（KPI）	助成対象者の出生数	現在値	未実施	目標値	10人
-------------	-----------	-----	-----	-----	-----

課題と課題解決の方策	現在、不妊治療の助成については県の特定治療支援事業で行われているが、不妊治療における治療費は原則保険適用外であり、治療は長期に及ぶ場合もあるため、医療費が高額で経済的負担となっている。 （福岡県特定治療支援事業）H28. 4. 1～ 【対象者】 体外受精・顕微授精以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、又は極めて少ないと医師に診断された法律上婚姻している夫婦 【助成限度額】 1回15万円 ※初回40才未満：通算6回、初回40歳以上43歳未満：通算3回まで 【所得制限】 730万円（夫婦合算の所得額）				
------------	---	--	--	--	--

具体的手法	①高度不妊治療の助成（福岡県特定治療支援事業の追加助成） 【対象者】 ・福岡県特定治療支援事業を受けた方で夫婦で町内に1年以上在住していること。 ・町税など町への納入金に滞納がないこと。 【助成額】 ・1回につき15万円まで（県の特定治療支援事業に治療費として申請した額から県や他の市区町村からの助成金額を差し引いて助成） ②一般的不妊治療の助成 【対象者】 ・法律上の婚姻をしている夫婦 ・夫婦で町内に1年以上在住し、町税等町への納入金に滞納がないこと。 ・産婦人科や泌尿器科を有する医療機関において不妊治療を受けた方。 【助成額】 ・保険適用の不妊治療及び人工授精について、1夫婦で年間上限3万円（通算5年間まで）とし、1年間に一回のみ助成を行う。ただし、県の助成を受けている治療は除く。				
-------	---	--	--	--	--

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）							現在の状況（KPI）		進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			

平成27年度	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H28. 2	H32. 3	0人	0.0%
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------	--------	----	------

具体的取組内容	不妊治療の判断については、医師の意見書などさまざまな書類等専門的な知識が必要なが多いため、平成28年度については、準備期間として取り組むための検討期間として位置づけました。																						
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成29年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成30年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		0				
	財源の 種類	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	0				
	補助事業名等						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	21	主管課	保険健康課	その他の課			
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）		
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり					0歳～14歳までの人口割合	
事業名	乳幼児等医療費支給の拡大				目標値	13%	
					現状値	11%	
重要業績指標（KPI）		子育て支援策の満足度		現在値	未実施	目標値	90%
課題と課題解決の方策	現在、鞍手町が実施している乳幼児医療費支給制度は就学前の子どもを対象としている。 小学生からは、自己負担が乳幼児医療費制度の上限600円（1医療機関あたりの窓口支払）から3割（保険診療の一部負担額）へと変わることとなり、子育て世代の負担が大きくなっている。 平成27年10月1日より、鞍手町乳幼児等医療費の支給として、対象年齢を就学前から中学3年生（中学生の通院費は除く）まで無料化を拡大することとなっている。 平成28年10月より、福岡県が乳幼児医療費の対象を就学前→小学生まで拡大（ただし、1医療機関あたりの上限額は増加）する予定であり、実施されれば町の負担はかなり圧縮されることから、今後の状況に応じて中学3年生までの完全無料化（中学生の通院費を対象に加える）実施を検討する。						
具体的手法	乳幼児医療費の支給対象を拡大		現行	H27.10～	将来的（時期は検討）		
	・通院		就学前	→ 小学6年生まで	→ 中学3年生まで		
	・入院		就学前	→ 中学3年生まで	→ 中学3年生まで		
	・自己負担		無 料	→ 無 料	→ 無 料		
	※生活保護受給者は除く		※中学生の入院費は償還払い				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月											
平成27年度	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	－	－
	具体的取組内容	平成27年10月1日からの乳幼児等医療費の支給対象年齢を就学前から中学3年生（中学生の通院費は除く）まで拡大するにあたり、乳幼児等医療費の支給対象者の内、就学前及び小学生については、乳幼児等医療費受給資格認定申請書の提出を求め、平成27年9月に新たな医療証を郵送しました。中学生については、制度の案内・入院時の償還払いの方法について、チラシを配布しました。平成27年10月以降診療分の小学生の給付件数2,871件、給付金額6,673,214円 中学生の償還払いは1件、給付金額36,864円																
平成28年度																		
	具体的取組内容																	
平成29年度																		
	具体的取組内容																	
平成30年度																		
	具体的取組内容																	
平成31年度																		
	具体的取組内容																	
事業費（決算額） （単位：千円）		財源の種類		事業費	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度									
				国庫支出金	37,072													
				県支出金	3,000													
				地方債	11,853													
				その他	0													
				一般財源	4,363													
		補助事業名等		乳幼児医療費支給事業費県費補助金 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）														
備考																		

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	22	主管課	政策推進課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり				0歳～14歳までの人口割合
事業名	医療体制の充実	目標値	13%		
		現状値	11%		
重要業績指標（KPI）	子育て支援策の満足度		現在値	未実施	目標値 90%

課題と課題解決の方策
 出産、子育てに向けた世代が新居を探したり定住を考える時に、小児科、産婦人科などのかかりつけ医が近くにあるということが条件となることも考えられる。
 鞍手町には小児科、産婦人科がなく、また、近隣にも少ない。特に小児科は子育てに必須の診療科であり、子育て世代の取り込みを考慮した時に、病院の有無で大きな違いがでる。
 現時点では明確ではないが、新たな中～大規模病院の設置に伴い、併設した形でメディカルタウンを整備し、小児科、産婦人科、耳鼻科、眼科などのかかりつけ医を誘致する。

具体的手法
 ■新たな中～大規模病院にメディカルタウン併設
 ・小児科、産婦人科、耳鼻科、眼科（その他皮膚科等）開業医のメディカルタウン内誘致
 ・民間活力による誘致業務
 ※一部調剤薬局においては、調剤薬局の利用を条件に無償で個人病院の誘致業務をおこなっており、実施する場合には依頼する。
 ・住民から建設費用の募金を募る
 ※集まる金額の多寡ではなく地域住民で医療を支えるという意識醸成

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	▲	▲	▲	▲	▲	H28.2	H32.3	—	—	
具体的取組内容	くからて病院基本構想検討委員会を3月に設置し、町全体の医療体制についても考慮しながら、今後委員会を進めていくこととします。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
		事業費		0	0	0	0	0	0		
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0							
			県支出金	0							
			地方債	0							
			その他	0							
			一般財源	0							
		補助事業名等									
備 考											

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	23	主管課	保険健康課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり				0歳～14歳までの人口割合
事業名	育児用品の支給（紙オムツ支給）	目標値	13%		
		現状値	11%		
重要業績指標（KPI）	子育て支援策の満足度		現在値	未実施	目標値 90%

課題と課題解決の方策
平成27年度より紙オムツを現物支給しているが、保護者にも評判がよく、続けてほしいという意向が強い。現在、支給している紙オムツの銘柄はパンパースのみであり、保護者が自由に紙オムツの銘柄を選べない状況である。
子育て支援・経済的負担の軽減のために既存の事業の継続と見直しを行うこととし、紙オムツの現物支給から紙オムツ券の支給に変更することで、育児に必要な物品の支給をしつつ保護者が自由に紙オムツを選択できるようにする。

具体的手法
紙オムツ現物支給→紙オムツ券の支給
新生児訪問時、4か月健診時、7か月健診時、12か月健診時に紙オムツ支給券を渡し、店舗で好みの銘柄の紙オムツと引き換えてもらう。ただし、引換は町内の店舗に限定する。

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）							現在の状況（KPI）		進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	—

具体的取組内容
乳幼児健診時に紙おむつの現物支給を行いました。保護者には大変好評でしたが、保護者が自由に紙オムツの銘柄を選べない状況であることから紙おむつの支給方法についてアンケート調査を実施した結果、「取りに行くのが大変」、「結局は引き換えるのを忘れそう」、「健診時にもらった方が便利」との意見が多く、また、券を渡す方式では譲渡したり受け取る人の確認が難しいため、当初、検討していた具体的手法の内容については、再度、検討することが必要と判断し、平成28年度については、従来通りの方式とし、再検討することとしました。
また、出生時の祝い品が現在「赤ちゃんカレンダー」のみとなっていることから祝い品を選べるように商品を追加することを検討しました。

平成28年度
具体的取組内容

平成29年度
具体的取組内容

平成30年度
具体的取組内容

平成31年度
具体的取組内容

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		827				
	財源 の 種 類	国庫支出金	702				
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	125				
	補助事業名等						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	24	主管課	教育課	その他の課			
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）		
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり					0歳～14歳までの人口割合	
事業名	授乳室の整備				目標値	13%	
					現状値	11%	
重要業績指標（KPI）	子育て支援策の満足度			現在値	未実施	目標値	90%
課題と課題解決の方策	交通インフラの充実による利便性と自然豊かな田舎要素を兼ね備えているが、知名度が低く、人口流出が続いている。特に20代・30代女性の大幅な減少によって出生数も著しく減少する負の連鎖で町が消滅する可能性すらあるという予測もある。子育てしやすい環境を整える。						
具体的手法	中央公民館内の母と子の図書室に授乳室を整備し、ベビーベッドを設置する。						

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）		
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月												
平成27年度	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	—	—
	子育ての環境整備事業として、子どもの図書室に授乳室を整備し、ベビーベッドを配置することで公共施設における子育て環境を整えました。																		
平成28年度																			
平成29年度																			
平成30年度																			
平成31年度																			

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		3,506				
	財 源 の 種 類	国庫支出金	3,506				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	0				
	補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）				
備 考							

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	25	主管課	福祉人権課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	安心して子どもを産み、育てる環境づくり				0歳～14歳までの人口割合
事業名	保育事業への就学前教育の導入 （公立保育所統合及び認定こども園化）				目標値
					13%
重要業績指標（KPI）	子育て支援策の満足度				現状値
					11%
現在値		未実施		目標値	90%

課題と課題解決の方策

平成21年度に公立保育所の一部民営化を実施し、現在は公立3所（児童数148人）、私立2園（188人）で保育事業を行っている。利用者負担額（保育料）に公私の区別がないため、同じ利用者負担であれば保護者としてよりサービスの充実している方を選択すると考えられ、私立の方が児童数が多い状況となっている。公立保育所としても、送迎、就学前教育の導入や園行事の充実など保護者にとって魅力あるサービスを提供していく必要があるが、慢性的な保育士不足を始めとして、雇用面や経営面で制約が多く、現在の3所のままではサービス拡充に向けた改革を実施していくことが困難な状況である。

保育の実施義務は町にあり、必要量（需要）に対する確保（供給）ができれば公私の区別はなく、少子化による児童数減少の流れを考えれば、将来的には町内1園化（完全民営化）の方向に向かうことが予想される。当面は、待機児童が生じないよう公立保育所を統合した上で、公立1所、私立2園の町内3園体制で保育を実施し、公私が連携しながら「認定こども園化」による就学前教育の導入や、それぞれの特徴を活かしたサービスの拡充を図り、併せて、町内1園化に向けた検討を行っていくこととする。

また、就学前教育に関し、私立では既に国語、算数、体育等に力を入れた取り組みがなされており、町全体の学力の底上げという観点からも、公立においても質の高い新たな取り組みが必要である。取り組みに際しては、詰め込みの英才教育ではない鞍手町という風土に合ったスーパー教育の導入を検討し、統合による効率化などのメリットをサービス拡充に転換した上で財政状況を勘案しながら実施していくこととする。

- 具体的手法**
- ①公立保育所を統合 …保育士不足解消など経営安定化とサービス拡充
 - ②公私連携法人協定締結 …公の関与を最大限発揮し、競争ではなく公私の区別なく町の保育事業として強ちに連携
 - ③保育所型認定こども園化 …公私が連携し町内認定こども園化を実施し、就学前教育付加による学力底上げ
 - ④スーパー教育導入検討・実施 …公立としての取り組み方法を検討し、財政状況を勘案した上で実施
 - ⑤町内1園化に向けた検討 …将来に向けた保育のあり方（完全民営化）の検討

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）							現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月		

平成27年度

具体的取組内容

計画策定後、2月から3月にかけて所長を除く正職保育士に対し面談を実施し、統合や保育に対する一人ひとりの考え方の把握を行いました。

また、公立としてどのようにスーパー教育を導入していくかなど、行政内部での検討及び民間教育事業者との協議を開始しました。

平成28年度

具体的取組内容

平成29年度

具体的取組内容

平成30年度

具体的取組内容

平成31年度

具体的取組内容

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		0				
	財源 の 種 類	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	0				
	補助事業名等						

備 考

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	26	主管課	教育課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	児童・生徒の確かな学力の向上を図る教育環境の充実				0歳～14歳までの人口割合
事業名	小学校交流事業（授業・修学旅行・宿泊学習等の合同実施）	目標値	13%		
		現状値	11%		
重要業績指標（KPI）	子育て（教育）支援策の満足度		現在値	未実施	目標値 90%

課題と課題解決の方策
小学校から中学校へ進学した際に起こる問題の1つに「中1ギャップ」がある。
原因としては、①子どもたちが異なった小学校から1つの中学校に集まるため人間関係が再編成されたり複雑化したことや、②中学校での勉強の難易度が上昇することなどがある。この結果不登校となる生徒が出てくることもあり得る。
同じ小学校内に限らず他の小学校に通う児童との友人関係を築くことで幅広い友人関係を醸成し、さらには中学校生活をスムーズに開始することができるよう、町内6小学校の児童が交流できる機会を設ける。

具体的手法
①宿泊学習の合同実施（5年生）
②修学旅行の合同実施（6年生）
③中学校での授業体験（6年生）…各学期に1回ずつ。まずは中学校の入学説明会時に1回

■ 評価点検⇒見直し

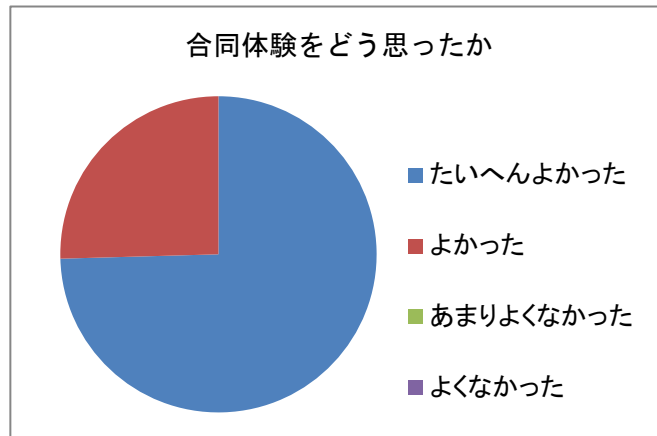
年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）										現在の状況（K P I）		進捗率（％）		
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月								
		▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H28. 2	H32. 3	—	—
平成27年度	具体的取組内容	平成28年度新入学者説明会において、各小学校の6年生を参加させ校舎の案内や授業の説明を行いました。また、合同体験学習として中学校の校舎で模擬授業を行いアンケート調査を行いました。 宿泊学習や修学旅行に関しては、次年度以降に計画を作成します。													
平成28年度	具体的取組内容														
平成29年度	具体的取組内容														
平成30年度	具体的取組内容														
平成31年度	具体的取組内容														

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		0				
	財源の 種類	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	0				
補助事業名等							
備 考							

小学校交流事業（授業・修学旅行・宿泊学習等の合同実施）アンケート調査

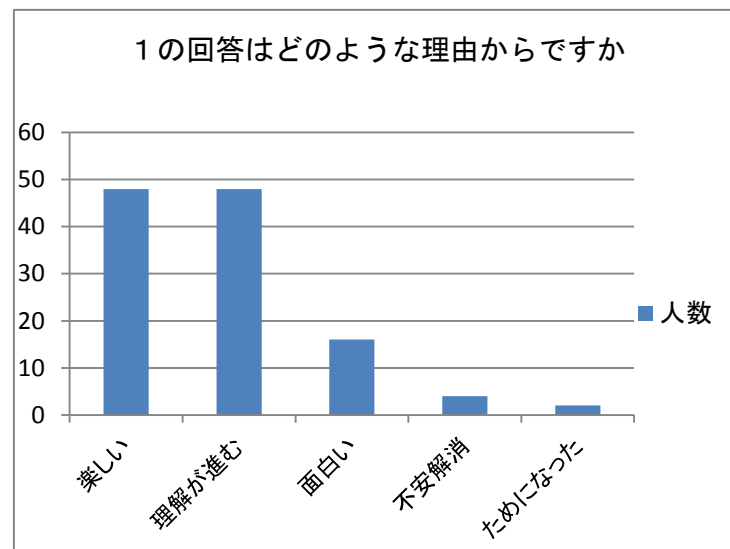
1. 合同体験学習について、どう思いましたか。（1つを○で囲んでください）

項 目	人数
たいへんよかった	85
よかった	29
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
総数	114



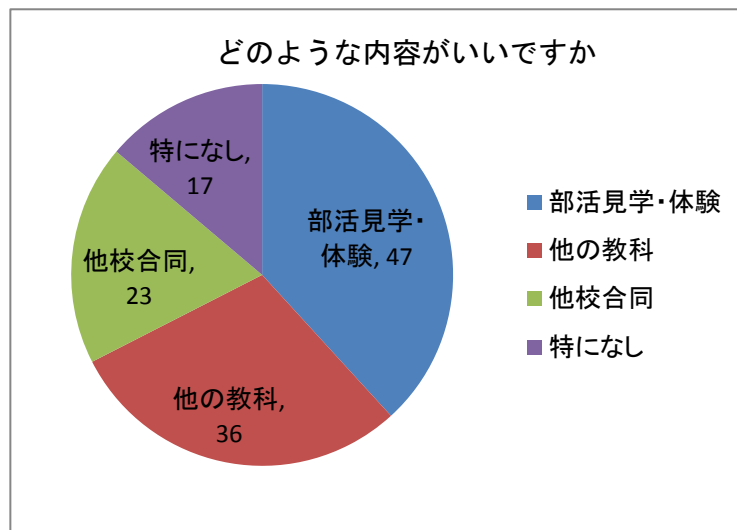
2. 1で答えたのは、どのような理由ですか？その理由を書いてください。

項 目	人数
楽しい	48
理解が進む	48
面白い	16
不安解消	4
ためになった	2
総数	118



3. 次の合同体験学習会をするとすれば、どのような内容がいいですか。
あなたのアイデアを教えてください。

項 目	人数
部活見学・体験	47
他の教科	36
他校合同	23
特になし	17
総数	123



まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番		27	主管課	教育課	その他の課				
基本目標		若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）			
テーマ		児童・生徒の確かな学力の向上を図る教育環境の充実					0歳～14歳までの人口割合		
事業名		学習アシスタント事業				目標値	13%		
						現状値	11%		
重要業績指標（KPI）		子育て（教育）支援策の満足度			現在値	未実施	目標値	90%	
課題と課題解決の方策	平成24年度から、大学生の学習アシスタントを学校に配置し、授業中に子どもたちの学習支援を行うことで基礎学力の向上を図ってきた。 全国学力・学習状況調査や福岡県学力実態調査の平均正答率を見ると、小学校においては福岡県の平均正答率と同程度となっており、学習アシスタント事業が学力向上の一助になっていると考えられる。 今後も引き続き学力向上を図るため、本事業の継続的な実施が不可欠である。 第4次総合計画後期基本計画で提案され、平成24年度から実施中の事業である。引き続き学習アシスタントを配置することでチームティーチングの授業形態を取り、子どもたちの個々に応じた学習指導の充実を図る。								
具体的手法	福岡教育大学や九州女子大学等と連携し、教員志望の学生を派遣してもらい、各学校に配置する。 ・1校につき週2回、年間35週の来校 ・1回につき3,000円（報償費） 3,000円×2回／週×35週×7校＝1,470千円								

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3
具体的取組内容	剣南小学校12回、剣北小学校42回、古月小学校36回、西川小学校72回、新延小学校21回、室木小学校111回 学習アシスタントを配置しました。 福岡教育大学 8人 九州女子大学 7人 佛教大学 1人 計16人									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	事業費		1,101	0	0	0	0
	財源の 種類	国庫支出金	867				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	234				
	補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）				
備 考							

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	28	主管課	教育課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	児童・生徒の確かな学力の向上を図る教育環境の充実				0歳～14歳までの人口割合
事業名	放課後教室の設置	目標値	13%		
		現状値	11%		
重要業績指標（KPI）	子育て（教育）支援策の満足度	現在値	未実施	目標値	90%

課題と課題解決の方策
平成26年度の全国学力学習状況調査・福岡県学力実態調査では、鞍手町の平均正答率は概ね全国平均・福岡県平均に到達できている状況であるが、依然として正答率が低い児童生徒が見られ、学力の二極化が懸念される状況である。
学力が低い児童生徒に対する学習支援をいかに行っていくかが課題である。
学校の授業終了後に学校で学習できる時間と場所を「放課後教室」として確保し、講師による学習指導が受けられる体制を整備する。

具体的手法
学校の教室などを活用し、子どもたちに学習の時間と場所を提供する。
子どもたちの質問などに対応できるよう、学生や退職教員等を講師として配置し、指導ができる体制を整備する。
現在小学校では、毎週木曜日は教職員の研修日となっており下校時間が早いため、週1回の実施とし、希望する児童生徒のみを対象とする。
・1校につき週1回、年間35週の実施
・1回につき3,000円（報償費）……学習アシスタントと同額を想定
3,000円×1回／週×35週×7校＝735千円

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）		進捗率（%）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月					
平成27年度	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●
具体的取組内容	平成28年度を検討期間として、学習アシスタントとの整合性を図りながら調整していきます。											
平成28年度												
具体的取組内容												
平成29年度												
具体的取組内容												
平成30年度												
具体的取組内容												
平成31年度												
具体的取組内容												

事業費（決算額） （単位：千円）			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
		事業費	0					
		財源の種類	国庫支出金	0				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	0				
		補助事業名等						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	29	主管課	教育課	その他の課			
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）		
テーマ	児童・生徒の確かな学力の向上を図る教育環境の充実					0歳～14歳までの人口割合	
事業名	英語教育の充実（ＡＬＴの拡充）				目標値	13%	
					現状値	11%	
重要業績指標（ＫＰＩ）	子育て（教育）支援策の満足度			現在値	未実施	目標値	90%
課題と課題解決の方策	今後、ますます国際化が進む中で、世界で通用する人材を育成するためには英語教育を充実させ、早い段階から英語に慣れ親しむ環境を整える必要がある。また、平成30年度から小学校高学年（５、６年生）において英語が教科化されることに伴い、ＡＬＴ（外国語指導助手）を積極的に活用するなど英語指導の人材を確保することが重要となっている。 しかし、現在ＡＬＴは１人のみであり、各学校・各学年に授業に行く回数が少ないのが現状である。 英語教育のさらなる充実に向け、学校に指導に行く回数が現状よりも多くなるよう、ＡＬＴの人数を増やす。						
具体的手法	・主に小学校を担当するＡＬＴを２名雇用 ・主に中学校を担当するＡＬＴを１名雇用 ※各学校の時間割等によって３人を振り分け、無理なく学校に派遣できる体制にする。						

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月										
平成27年度	●●																

事業費（決算額） （単位：千円）		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
		事業費		5,027	0	0	0	0	0		
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0							
			県支出金	0							
			地方債	0							
			その他	0							
			一般財源	5,027							
		補助事業名等									
備 考											

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	30	主管課	教育課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	児童・生徒の確かな学力の向上を図る教育環境の充実				0歳～14歳までの人口割合
事業名	ふるさと歴史学習				目標値
					13%
重要業績指標（KPI）	子育て（教育）支援策の満足度				現状値
					11%
		現在値	未実施	目標値	90%

課題と課題解決の方策
交通インフラの充実による利便性と自然豊かな田舎要素を兼ね備えているが、知名度が低く、人口流出が続いている。特に20代、30代女性的大幅な減少によって出生数も著しく減少する負の連鎖で町が消滅する可能性すらあるという予測もある。
小中学生を対象に地元愛を育むための歴史学習を実施する。

具体的手法
町の歴史ガイドを作成し、それを教材として小中学生に歴史学習を実施する。

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	—	—	
具体的取組内容	「鞍手歴史図鑑」を5,000冊を作成しました。今後、町内6小学校の6年生を対象に実施している子ども学芸員の授業で活用するため、各年度約200冊程度を対象児童や教諭等に配布予定（1,000冊）です。また、残部については、2,000冊作成した「ようこそ昔話の世界へ」と併せて公共施設等に配架し、歴史・文化の継承の一助として活用していきます。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		1,318				
		財源の 種類	国庫支出金	1,318				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	0				
補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）						

備 考

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	31	主管課	教育課	その他の課	
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	児童・生徒の確かな学力の向上を図る教育環境の充実				0歳～14歳までの人口割合
事業名	教育相談員の配置				目標値
					13%
事業名	教育相談員の配置				現状値
					11%
重要業績指標（KPI）	子育て（教育）支援策の満足度		現在値	未実施	目標値
					90%

課題と課題解決の方策
交通インフラの充実による利便性と自然豊かな田舎要素を兼ね備えているが、知名度が低く、人口流出が続いている。特に20代、30代女性の大規模な減少によって出生数も著しく減少する負の連鎖で町が消滅する可能性すらあるという予測もある。
教育に関する相談環境を整えて、子育て世代の不安を取り除く。

具体的手法
子育て世代が教育相談できるよう、相談員を配置する。

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—
具体的取組内容	学校教育に関する相談及び助言に関する業務を処理することを目的として教育指導員を配置し、就学や特別支援教育に関する相談を行いました。 相談件数 27件									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費	3,746			
		国庫支出金	3,212			
		県支出金	0			
		地方債	0			
		その他	0			
		一般財源	534			
補助事業名等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）				

備考

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	32	主管課	福祉人権課	その他の課				
基本目標	地域の安全・安心は地域で守り、広域連携を連携する				●指標（実施に関する目標達成の状態）			
テーマ	安全・安心なくらしの確保					住みよいと感じている人の割合		
事業名	生活支援体制整備事業				目標値	80%		
					現状値	46. 20%		
重要業績指標（KPI）	支援体制の満足度			現在値	未実施	目標値	15団体	
課題と課題解決の方策	平成26年度介護保険法改正により、要支援認定者に対する訪問介護・通所介護が予防給付から外れ、住民主体のボランティアが主な提供主体となる介護予防・日常生活支援総合事業へ移行するが、担い手になりうるボランティア団体や人材が育成されていない。 要支援者の訪問介護・通所介護が介護保険の予防給付から外された状態で、現状必要となる生活支援サービスを把握すること、それと同時に、営利企業が実施するものも含めて、現状ある生活支援サービスを把握する。 必要となるサービスのうち、現状あるサービスでは充足できないサービスは、新たな担い手を発掘・養成する必要がある。							
具体的手法	地域の民生委員、既存のボランティア等からなる協議体を設置して、既存のサービスや開発が必要なサービス等を把握する。協議体の中から生活支援コーディネーターを選出して、コーディネーターと協議体が連携して生活支援の担い手の養成やサービスの開発を行う。 地域の生活支援ニーズとサービス提供主体の活動の結びつけの支援を行う。							

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）														現在の状況（K P I）		進捗率（％）	
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月											
平成27年度		▲	▲	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H28.2	H31.3	－	－
	具体的取組内容	福祉人権課、地域包括支援センター、社会福祉協議会合同会議を設置し、月1回の会議を実施し、地域福祉計画の推進と併せての検討を行うこと等について協議を行いました。																
平成28年度																		
	具体的取組内容																	
平成29年度																		
	具体的取組内容																	
平成30年度																		
	具体的取組内容																	
平成31年度																		
	具体的取組内容																	

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		0	0	0	0	0
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	0				
		補助事業名等						
備 考								

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	33	主管課	総務課	その他の課	
基本目標	地域の安全・安心は地域で守り、広域連携を連携する				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	安全・安心な暮らしの確保				住みよいと感じている人の割合
事業名	避難行動要支援者名簿活用事業	目標値	80%		
		現状値	46.20%		
重要業績指標（KPI）	避難訓練の実施数		現在値	4件	目標値 7件
課題と課題解決の方策	東日本大震災における死者の内、高齢者の死者数は約六割であり、障害者の死亡率は被災住民全体の約2倍に上るなど、多くの避難行動要支援者が犠牲となった。そのため、要支援者が迅速な避難行動を行える体制づくりが急務である。 避難行動要支援者名簿を作成し、地域が主体となった避難支援体制の整備。				
具体的手法	避難行動要支援者名簿の作成後、地域・行政・消防・警察などの関係機関が共有し、地域においては日頃の見守り活動も含めた避難支援体制づくりを行い、年間1地区を目標に避難訓練を実施する。その他の機関においては災害時の後方支援を行う。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（K P I）	進捗率（％）				
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月							
平成27年度	●	●	●	●	●	●	●	●	H27. 4	H32. 3	4 件	57.1%		
具体的取組内容	平成27年度においては、名簿の活用は行っていないが、避難訓練を1地区、避難所までの経路の確認を1地区が行いました。なお、この1地区は現在値の4件に該当する自治区であり実績があるため、避難訓練実施件数は、4件のままです。 ※避難訓練を行った自治区へは、鞍手町自主防災組織活動補助金を支出													
平成28年度														
具体的取組内容														
平成29年度														
具体的取組内容														
平成30年度														
具体的取組内容														
平成31年度														
具体的取組内容														
事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		
		財源の種類	事業費		24									
			国庫支出金		0									
			県支出金		0									
			地方債		0									
			その他		0									
		一般財源		24										
		補助事業名等												
備 考														

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連番	34	主管課	総務課	その他の課	
基本目標	地域の安全・安心は地域で守り、広域連携を連携する				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	安全・安心なくらしの確保				住みよいと感じている人の割合
事業名	防犯対策事業	目標値	80%		
		現状値	46.20%		
重要業績指標（KPI）	犯罪件数		現在値	173件	目標値 犯罪件数の減少

課題と課題解決の方策
各行政区において地域の安全・安心の確保のために設置している防犯灯数は約1700基あり、そのうち約20%がLED防犯灯となっている。町では、各行政区の負担を軽減するために防犯灯設置補助金によりLEDへの変更を行う行政区に対して補助を行っているが、現状の補助金額ではLED変更促進が図れていない。行政区がLEDへの変更を行う費用の負担を軽減する。

具体的手法
LED防犯灯への補助事業については、現在のところ一基につき7千円を補助しているが、その補助額を一基につき1万円に増額して各区の財政的負担を軽減する。

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3		156件	11.1%の減少
具体的取組内容	当初予算において、1基当たり7千円、100基分の70万円を予算措置しましたが、6月末には、申請額が予算を上回ったため、9月補正において追加で50基分、35万円を補正しました。 平成28年度予算においては、例規整備を行い、1基当たり1万円に増額し、100基分の100万円の予算を計上し、予算措置を行いました。 ※各区の申請に基づき、鞍手町防犯灯新設及び補修費等補助金を支出									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費	901			
		国庫支出金	0			
		県支出金	0			
		地方債	0			
		その他	0			
		一般財源	901			
	補助事業名等					
備考						

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施																
連 番		35		主管課		政策推進課		その他の課		全課						
基本目標		地域の安全・安心は地域で守り、広域連携を連携する								●指標（実施に関する目標達成の状態）						
テーマ		広域連携の強化								住みよいと感じている人の割合						
事業名		連携中枢都市圏事業								目標値	80%					
										現状値	46.20%					
重要業績指標（KPI）		連携事業件数				現在値		未実施		目標値		5件				
方 策		人口減少・少子高齢化社会において、一定圏域における活力ある社会経済を維持するために、経済をけん引していく核となる都市（政令市など）とその近隣自治体による広域連携の取り組みを推進する新たな仕組みとして、「連携中枢都市圏構想」を推進する。														
具体的施策		形成される圏域内での広域連携による経済成長、地域全体の振興、行政サービスの効率化を図っていく。														
■ 評価点検⇒見直し																
年 度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）			進捗率（%）				
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月									
平成27年度	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	4件	80.0%
具体的取組内容		17市町間で、連携中枢都市圏北九州都市圏域の形成に係る連携協約の締結に向けた北九州地域連携懇談会、北九州都市圏域トップ会議が行われ、平成28年3月議会にて、「連携中枢都市圏北九州都市圏域の形成に係る北九州市との連携協約の締結に関する協議」の可否について各市町ごとに当該市町の議会へ議案として提案し議決されました。														
平成28年度																
具体的取組内容																
平成29年度																
具体的取組内容																
平成30年度																
具体的取組内容																
平成31年度																
具体的取組内容																
事業費（決算額） （単位：千円）		財源の種類		事業費		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		
				国庫支出金		0										
				県支出金		0										
				地方債		0										
				その他		0										
		一般財源		0												
				補助事業名等												
備 考																

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番	36	主管課	政策推進課	その他の課	
基本目標	地域の安全・安心は地域で守り、広域連携を連携する				●指標（実施に関する目標達成の状態）
テーマ	広域連携の強化				住みよいと感じている人の割合
事業名	直方・鞍手広域連携プロジェクト	目標値	80%		
		現状値	46.20%		
重要業績指標（KPI）	連携事業件数		現在値	1 件	目標値 5 件
方 策	福岡県、直方市、宮若市、小竹町、鞍手町が連携して、域内の情報発信を積極的に行い、地域の活性化を行う。				
具体的施策	自然、歴史、文化、暮らしなどの地域資源を活かした学び・体験プログラムを地域住民が主催者として実施し、地域内外からの誘客を図るとともに、地域外に情報発信を行う。				

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）								現在の状況（KPI）	進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3		4 件	80.0%
具体的取組内容	学び・体験プログラムである「ちょっくらふれ旅」秋冬に鞍手町内における主催者として参加できる担い手を募集し、5つのプログラムを実施しました。プログラムは、担い手主導で行いました。 担い手 2人、2団体 プログラム内容及び参加者 ウォーキング（43人） 歴史探訪（13人） フラダンス（5人） オリジナルたまごパック作り（8人） ウクレレ（13人）									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費		601				
		財 源 の 種 類	国庫支出金	0				
			県支出金	601				
			地方債	0				
			その他	0				
			一般財源	0				
		補助事業名等						
備 考								

まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAシート(計画⇒実施⇒評価・点検⇒見直し)

■ 計画⇒実施

連 番		37	主管課	政策推進課	その他の課			
基本目標		地域の安全・安心は地域で守り、広域連携を連携する				●指標（実施に関する目標達成の状態）		
テーマ		広域連携の強化					住みよいと感じている人の割合	
事業名		直方宗像線沿線自治体連携事業				目標値	80%	
						現状値	46.20%	
重要業績指標（K P I）		連携事業件数			現在値	1 件	目標値	5 件
方策	直方市、宗像市及び鞍手町が相互に連携し、それぞれが有する資源を有効活用した広域連携事業を協働で実施することで、直方宗像線沿線地域の広域連携による一体的な地域振興及び沿線地域の活性化を行う。							
具体的施策	直方宗像線沿線地域の活性化に寄与する事業を行う。事業については、青少年の育成、高齢者支援、障がい者支援など福祉の増進、環境の保全、安全、安心、産業の振興及び観光交流、文化及びスポーツの振興に関する事業を実施する。							

■ 評価点検⇒見直し

年度	検討及び実施期間（検討または準備：▲ 実施：●）							現在の状況（KPI）		進捗率（%）
	27	28	29	30	31	開始年月	到達年月			
平成27年度	●	●	●	●	●	●	●	H27.4	H32.3	4件
具体的取組内容	直方市、宗像市及び鞍手町の食、物産品、観光資源等を一つの観光マップにまとめ2万部を作成し、域内のみならず、福岡・北九州両都市圏へ多数配布を行いPRに努めました。 物産展として、8月29日と30日に道の駅むなかたにて、10月25日に鞍手町（くらて元気まつり）にて域内の物産品販売や観光資源の紹介を行いました。 2月から3月にかけて県道29号線を走る路線バスを利用したモニターツアーや域内の施設や観光名所を巡るスタンプラリーを実施しました。モニターツアーにより、地域のPRだけでなく、路線バスのPRにもつながりました。									
平成28年度										
具体的取組内容										
平成29年度										
具体的取組内容										
平成30年度										
具体的取組内容										
平成31年度										
具体的取組内容										

事業費（決算額） （単位：千円）	財源の種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		事業費	400			
		国庫支出金	0			
		県支出金	200			
		地方債	0			
		その他	0			
	一般財源	200				
補助事業名等		個性ある地域づくり推進事業費補助金				
備考						